

地域おこし協力隊

vol. 9

『横山陽子』の活動日記

4月の終わりに、我が家に3匹のひよこがやってきました。
コロナの影響があり外で活動することが難しい中、ずっと憧れていた鶏を飼うことが自給的暮らしや、田舎暮らしの発信のひとつになると思いました。

まずは、ひよこたちの家を準備することにしました。いろんな人から、「ひよこは寒さに弱いからひよこ電球がいるよ」「へびに気をつけてね」など教えてもらい、いつもお世話になっているお隣さんに協力していただき、木で作った立派なひよこの家が完成しました。そして、鶏を飼っている友人からひよこの雄1匹と雌2匹を分けてもらいました。名前はカンタ・サツキ・メイとして、トトロから命名しました。その日は、ただただ可愛くてずっと見続けていました。

次の日は、外に出してみると、ミミズやアリを見つけ3匹で奪い合って食べたり、砂で遊んだり「くんくん」言ってすごく嬉しそうでした。やはり土が好きなんですね。

たくさん外で遊んだ後、家の中で私の手の中で寝たり、羽の裏をさすってやると気持ちがいいのか、半目状態になりました。

ひよこの成長はとても早く、2、3日前までは跳べなかった所から、跳べるようになったり、走るスピードが早くなったり、1匹1匹個性があり毎日見ていて飽きません。そして可愛くてたまりません。あっという間に大人になるのでしょうか。次は鶏小屋作りが待っています。あと4、5か月くらい過ぎると卵を産んでくれます。その日が待ち遠しいですが、ひよこも可愛くてこのままでいてほしいなと思ったり、少し複雑な気持ちです。

ひよこたちの成長はSNSで発信しています。田舎暮らしに憧れている人たちに、これから鶏が庭を自由に駆け回る光景を見て、こんな暮らしがしてみたいと少しでも田舎にくるきっかけになればと思います。

また今後も地域の魅力や田舎暮らしのSNS発信等、コロナ後に動けるようになったら、またたくさん活動していきたいと思っています。



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。